

# 費用対効果評価の実践トレーニング: Hands on Workshop

主催 一般財団法人 医薬品医療機器レギュラトリーサイエンス財団

## 【講演内容】

- 10:00~10:05 開会挨拶 寺尾 允男(医薬品医療機器レギュラトリーサイエンス財団会長)
- 10:05~10:30 第 1 講: 費用対効果評価を取り巻く背景 – 規制関係や欧米の状況 –  
荒西 利彦(日本製薬工業協会医薬品評価委員会データサイエンス部会 KT6)
- 10:30~11:00 第 2 講: 費用対効果評価のフレームワーク 1 – 概要紹介 –  
奥山 ことば(日本製薬工業協会医薬品評価委員会データサイエンス部会 KT6)
- 11:00~11:30 第 3 講: 費用対効果評価のフレームワーク 2 – ケーススタディー –  
中島 章博(日本製薬工業協会医薬品評価委員会データサイエンス部会 KT6)
- 11:30~13:00 休 憩(昼 食)
- 13:00~13:30 第 4 講: 費用対効果評価: 実務上の留意点  
荒西 利彦(日本製薬工業協会医薬品評価委員会データサイエンス部会 KT6)
- 13:30~16:30 第 5 講: Hands on Workshop  
総合司会: 松下 泰之(日本製薬工業協会医薬品評価委員会データサイエンス部会 KT6)  
日本製薬工業協会医薬品評価委員会データサイエンス部会 KT6 メンバー  
ツール紹介: 直井 一郎(日本製薬工業協会医薬品評価委員会データサイエンス部会 KT6)
- 16:30~17:00 ディスカッション、質疑応答  
河田 祐一(日本製薬工業協会医薬品評価委員会データサイエンス部会 KT6)

## 【日時および場所】

-----  
2018 年 2 月 23 日(金) 10:00~17:00 (受付開始予定 9:30)

日本薬学会 長井記念ホール (東京都渋谷区渋谷 2-12-15 地下 2 階)  
-----

昨年度(平成 28 年度)より薬価・医療機器の再算定での費用対効果評価の試行的導入が開始され、既収載品の医薬品 7 品目及び医療機器 6 品目へ、費用対効果評価の分析結果の提出が求められました。これは高額な医療技術の増加による医療保険財政の影響への懸念があること、及び現在の医療技術の保険収載や保険償還価格の判断材料に費用対効果が重視されてこなかったことが背景にあります。費用対効果評価は医療費削減の直接的なツールではなく、医療技術の価値の評価こそが本来の役目です。しかしながら、これまで日本では厳密には重視されてきませんでした。中央社会保険医療協議会(中医協)では、これらの課題を解決するため費用対効果評価専門部会を設置し、約 4 年間に及ぶ議論を経て、昨年度の試行的導入に至りました。また将来的には新医療技術の価格及び保険償還の可否に対しても適応を検討していますので、医薬品・医療機器の企業は、自社の医療技術の価値及び価格に対し、説明責任を果たすことが益々求められるようになります。

本研修会では、医療技術の価値をいかに示すか、費用対効果評価の技術的な側面に焦点を当て、費用対効果を取り巻く内外の環境、一般的な方法論、及びケーススタディをご紹介します。さらに Hands on Workshop での演習を通じて、費用対効果評価の基本的な考え方、手法をマスターして頂きます。研修会の最後にはディスカッション・質疑応答の時間も準備しております。なお、受講申込していただいた参加者には事前(2 月頃)に演習で使用するエクセルソフトをお送りしますので、当日は当該エクセルソフトを格納した PC を忘れずにご持参ください。

つきましては、本研修会の趣旨にご賛同いただき、多数の皆様にご参加いただきますようご案内申し上げます。

レギュラトリーサイエンス エキスパート研修会 専門コース(第217回)  
**費用対効果評価の実践トレーニング: Hands on Workshop**

主催 一般財団法人 医薬品医療機器レギュラトリーサイエンス財団

後援 日本製薬団体連合会 日本ジェネリック製薬協会 一般社団法人日本医薬品卸売業連合会  
 日本製薬工業協会 米国研究製薬工業協会(PhRMA) 公益財団法人ヒューマンサイエンス振興財団  
 公益社団法人東京医薬品工業協会 欧州製薬団体連合会(EFPIA Japan) 公益財団法人 MR 認定センター  
 関西医薬品協会 一般社団法人日本 CRO 協会 日本 CSO 協会  
 日本 OTC 医薬品協会

**【申込要領】**

**1. 申込方法**

受講希望の方は財団ホームページ (<http://www.pmrj.jp>) より申込手続きを行ってください。

- ①ホームページ研修事業内「開催一覧」の研修会毎にある【申込】ボタンより、画面の案内に従って必要事項をご入力ください。
- ②申込完了後、受付番号及び入金方法をメールにてお知らせいたしますので、受講料をお振込みください。
- ③受講料お振込みを確認した時点で、参加登録が完了いたします。入金確認メールをお送りいたしますので、研修会当日には**入金確認メール(受講票)**を印刷し、ご持参ください。

**2. 受講料(消費税込): テキスト代を含みます。**

- ・法人会員(法人会員は1口につき4名が会員扱い)／個人会員 18,000 円
- ・レギュラトリーサイエンス エキスパート認定に係る登録者(PV・開発・MA分野対象) 15,000 円
- ・非会員 27,000 円
- ・行政／アカデミア／医療機関／学生 7,500 円

※受講者の方は、以下の書籍およびDVDを特別価格でご購入いただけます。申込手続き時に、案内に従ってご購入ください。

- <新刊>日本は慢性疼痛にどう挑戦していくのか-----2,500 円
- 知っておきたい薬害訴訟の実際 ----- 2,500 円
- 微生物迅速試験法 ----- 9,300 円
- PVの概要とノウハウ ----- 7,400 円
- 基礎から学ぶ医療経済評価 ----- 5,500 円
- 日英対訳 日本における医薬品のリスクマネジメント 第2版 -----11,000 円
- 日本の薬害事件(日英対訳版) ----- 9,300 円
- 知っておきたい薬害の教訓 ----- 2,400 円
- 知っておきたい薬害の知識 ----- 1,700 円
- 映像で学ぶ薬害シリーズ「薬害の知識と教訓」(DVD) 日本  
日本の薬害事件(文部科学省特別選定作品) ----- 88,500 円
- イレッサ事件(文部科学省選定作品) / スモン事件(文部科学省特別選定作品) / クロロキン事件 ----- 各 44,000 円
- 温故知新 ～薬害から学ぶ～(DVD) ソリブジン事件／薬害肝炎事件／陣痛促進剤による被害／薬害エイズ事件／サリドマイド-----各 7,400 円
- 筋短縮症----- 4,600 円

**3. レギュラトリーサイエンス エキスパート認定単位**

医薬品関係企業、行政機関、アカデミアおよび医療機関等の皆様に、最新の情報や知識等に関する研修の機会を利用し、研修実績を客観的に認定することで個人のモチベーションを高めスキルアップの持続を図っていただく制度です。当財団が行っている所定の研修会受講者をレギュラトリーサイエンス エキスパートとして認定いたします。

登録・認定の対象分野にはMA、開発、PV、品質、薬害教育があります。詳細は財団ホームページ「認定制度」をご覧ください。

本研修会は 登録単位 全分野：1.5単位  
 認定単位 **PV・開発分野：3単位** が、付与されます。

**4. 注意事項**

- \* 振込依頼書のご依頼欄には、必ず**受付番号と受講者氏名(カタカナ)**をご記入ください。お申込み後に返信メールが届かない場合にはご連絡ください。
- \* 受講料をお振込みの上、ご参加ください。原則として、電話、FAX.での受付及び当日受付はいたしませんのでご了承ください。
- \* 現金送金をご遠慮願います。
- \* 受講料受領後の払い戻しはいたしませんので、予めご了承ください。
- \* お振込みの控えをもって領収書に代えさせていただきます。
- \* 個人会員の方、レギュラトリーサイエンス エキスパート認定登録者の方は、ご本人の出席に限ります。
- \* 当日、許可された方以外の撮影及び録音はご遠慮願います。

**5. 問い合わせ先**

一般財団法人 **医薬品医療機器レギュラトリーサイエンス財団** 研修担当；電話 03-3400-5644  
 〒150-0002 東京都渋谷区渋谷 2-12-15 / <http://www.pmrj.jp>

演題、講師、時間等一部変更する場合がありますので、予めご了承下さい。